

# 定期作況報告

平成19年5月  
(5月20日現在)

北海道立北見農業試験場

# 1. 気象経過

## 1) 前年9月以降の経過

**9月**：上旬の最高気温は平年並、最低気温・平均気温とも平年よりやや高かった。中旬の最高気温・平均気温とも平年よりやや高く、最低気温は平年並であった。下旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。日平均気温の月平均は15.3℃で平年より0.5度高かった。降水量は上旬・中旬とも平年より少なく、下旬は平年より多かった（月合計75.0mmで平年の58%）。日照時間は上旬・中旬とも平年並、下旬は平年より多かった（月合計159.1時間で平年の121%）。

**10月**：上旬の最高気温は平年並、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。中旬は最高気温は平年よりやや低く、最低気温・平均気温とも平年並であった。下旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年より極めて低く、平均気温は平年よりやや低かった。日平均気温の月平均は7.8℃で平年より0.7度低かった。降水量は上旬は平年より極めて多く、中旬は平年より多く、下旬は平年より少なかった（月合計193.0mmで平年の281%）。日照時間は上旬・中旬・下旬とも平年並であった（月合計168.0時間で平年の113%）。

**11月**：上旬の最高気温・最低気温・平均気温とも平年より極めて高かった。中旬の最高気温は平年並、最低気温は平年より極めて高く、平均気温は平年よりやや高かった。下旬の最高気温は平年並、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。日平均気温の月平均は3.2℃で平年より2.0度高かった。降水量は上旬・中旬とも平年より極めて多く、下旬は平年より少なかった（月合計70.0mmで平年の158%）。日照時間は上旬・中旬・下旬とも平年並であった（月合計122.0時間で平年の93%）。

## 2) 根雪期間中の経過

**12月**：上旬の最高気温・平均気温は平年よりやや低く、最低気温は平年より低かった。中旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温・平均気温は平年より高かった。下旬の最高気温、最低気温、平均気温は平年より極めて高かった。日平均気温の月平均は-5.7℃で平年より1.5度高かった。降水量は上旬・中旬は平年より少なく、下旬は平年より極めて多かった（月合計56.0mmで平年の123%）。日照時間は上旬・中旬・下旬とも平年並であった（月合計131.9時間で平年の100%）。

**1月**：上旬の最高気温・最低気温・平均気温は平年よりやや高かった。中旬の最高気温は平年より低く、最低気温は平年並、平均気温は平年よりやや低かった。下旬の最高気温は平年並、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。日平均気温の月平均は-9.3℃で平年より0.3度高かった。降水量は上旬は平年より極めて多く、中旬・下旬は平年より少なかった（月合計59.0mmで平年の112%）。日照時間は上旬は平年よりやや少なく、中旬・下旬は平年並であった（月合計120.3時間で平年の97%）。

**2月**：上旬の最高気温・平均気温は平年より高く、最低気温は平年よりやや高かった。中旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温・平均気温は平年より極めて高かった。下旬の最高気温・最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年より高かった。日平均気温の月平均は-7.3℃で平年より2.1度高かった。降水量は上旬は平年よりやや少なく、中旬は平年より極めて多く、下旬は平年より少なかった（月合計41.5mmで平年の145%）。日照時間は上旬・中旬は平年よりやや少なく、下旬は平年並

であった（月合計125.0時間で平年の86％）。

**3月**：上旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温・平均気温は平年より高かった。中旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温・平均気温は平年並であった。下旬の最高気温・最低気温・平均気温とも平年並であった。日平均気温の月平均は-3.3℃で平年より0.6度高かった。降水量は上旬・下旬は平年より少なく、中旬は平年より多かった（月合計34.0mmで平年の79％）。日照時間は上旬・下旬は平年並、中旬は平年よりやや少なかった（月合計156.5時間で平年の92％）

### 3) 融雪期以降の経過

**4月**：上旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並であった。中旬は最高気温・最低気温・平均気温ともに平年より極めて低かった。下旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。日平均気温の月平均は2.8℃で平年より1.6度低かった。降水量は上旬・中旬とも平年並、下旬は平年より少なかった（月合計42.0mmで平年の80％）。日照時間は上旬は平年並、中旬は平年よりやや少なく、下旬は平年よりやや多かった（月合計157.6時間で平年の97％）

**5月**：上旬の最高気温・平均気温は平年より高く、最低気温は平年並であった。中旬の最高気温・平均気温は平年より極めて低く、最低気温は平年よりやや低かった。降水量は上旬は平年より多く、中旬は平年より極めて多かった。日照時間は上旬は平年並、中旬は平年より少なかった。

なお、根雪始は平年より2日早い11月28日、融雪期は平年より9日遅い4月20日で、根雪期間は平年より11日間長い144日間であった。耕鋤始は平年より2日早い4月24日であった。

注) 降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、平年比±20%を平年並み、±20～40%を平年よりやや多い（少ない）、±40～100%を平年より多い（少ない）、+100%以上を平年より極めて多いとした（2005年10月表現方法を改正）。

### 4) 季節表

項目 年次	初霜 月・日	降雪始 月・日	根雪始 月・日	融雪期 月・日	根雪期間 日数	耕鋤始 月・日	降雪終 月・日	晩霜 月・日
本年	平成18年 10.14	10.22	11.28	平成19年 4.20	144	4.24	5.20	5.21
平年	10.11	10.30	11.30	4.11	133	4.26	4.28	5.15
比較	3	△ 8	△ 2	9	11	△ 2	22	6

注) 観測は北見農試（訓子府町弥生）で行い、平年値は前10か年の平均値である。

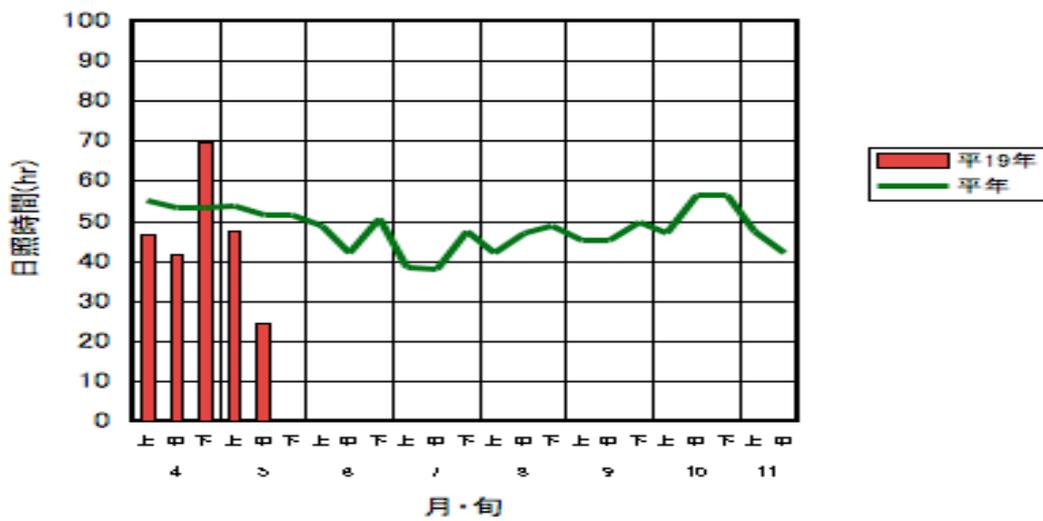
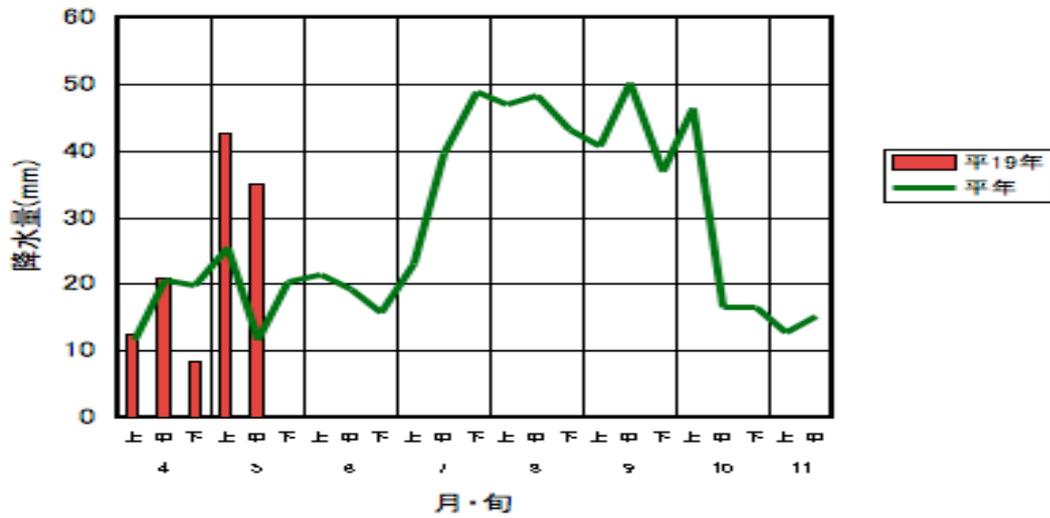
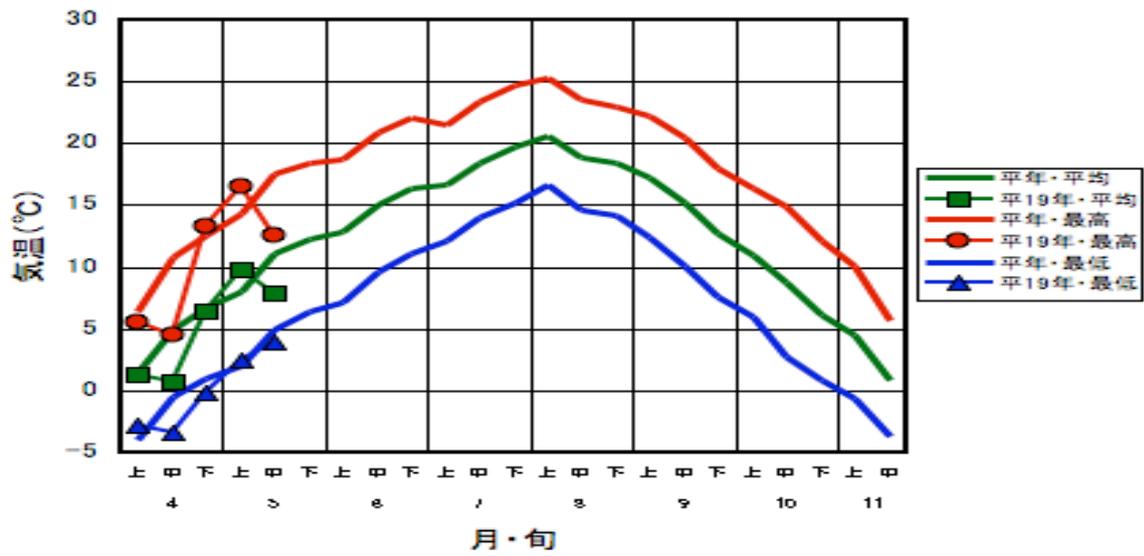
5) 気象表

月・旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9 上	18.2	16.9	1.4	24.1	21.7	2.3	12.4	12.2	0.1	127.5	36.8	90.7	50.1	41.3	8.8
9 中	16.6	15.0	1.6	22.5	19.9	2.7	11.2	10.5	0.7	12.5	65.3	△52.8	56.8	38.6	18.2
9 下	13.3	12.8	0.5	18.7	18.0	0.7	7.9	7.9	△0.1	5.5	48.9	△43.4	52.1	43.6	8.5
10 上	11.8	10.5	1.3	18.4	16.1	2.3	5.1	5.4	△0.3	6.5	32.6	△26.1	56.7	44.7	12.0
10 中	11.2	8.5	2.7	17.3	14.6	2.8	6.0	2.7	3.3	4.0	18.5	△14.5	70.0	51.2	18.8
10 下	7.4	6.5	0.9	13.2	12.4	0.8	2.7	1.2	1.5	15.0	18.2	△3.2	52.5	54.6	△2.1
11 上	7.3	3.8	3.5	13.6	9.6	4.0	1.8	-1.8	3.6	31.0	7.2	23.9	55.2	49.5	5.7
11 中	-0.1	0.5	△0.5	5.3	5.6	△0.3	-3.8	-4.6	0.8	4.5	12.7	△8.2	48.3	42.1	6.2
11 下	-0.9	-1.1	0.2	3.4	3.8	△0.4	-5.4	-5.8	0.4	21.0	24.4	△3.4	43.7	42.7	1.0
12 上	-4.8	-5.2	0.4	0.1	-0.1	0.2	-9.5	-10.3	0.8	18.0	16.0	2.0	42.0	39.7	2.3
12 中	-7.2	-7.4	0.2	-2.3	-1.8	△0.5	-12.8	-12.7	△0.1	55.0	8.7	46.3	28.0	43.4	△15.4
12 下	-10.0	-8.5	△1.5	-4.3	-2.8	△1.5	-15.8	-14.1	△1.7	29.0	12.6	16.5	39.8	47.5	△7.7
1 上	-11.9	-8.8	△3.1	-5.7	-2.9	△2.7	-17.0	-14.7	△2.3	11.0	15.5	△4.5	48.1	38.5	9.6
1 中	-11.3	-9.6	△1.7	-4.8	-4.1	△0.7	-17.5	-15.5	△2.0	10.0	16.8	△6.8	33.0	36.4	△3.4
1 下	-9.6	-10.4	0.7	-3.5	-4.4	0.9	-16.0	-16.5	0.5	2.0	22.3	△20.3	58.1	49.0	9.1
2 上	-11.8	-9.5	△2.3	-6.3	-3.6	△2.7	-18.5	-15.9	△2.7	7.0	6.5	0.5	34.4	48.5	△14.1
2 中	-8.1	-10.2	2.1	-1.8	-3.8	2.0	-16.5	-16.9	0.4	7.0	13.0	△6.0	36.7	45.6	△8.9
2 下	-2.6	-8.3	5.8	2.9	-1.8	4.6	-9.4	-15.3	5.9	33.5	9.1	24.4	41.2	50.4	△9.2
3 上	-4.3	-7.0	2.7	0.5	-1.2	1.7	-10.4	-13.6	3.3	25.5	15.6	9.9	43.9	51.1	△7.2
3 中	-1.4	-3.7	2.4	3.1	1.5	1.6	-7.7	-10.0	2.3	6.0	8.5	△2.5	49.6	53.1	△3.5
3 下	-0.6	-0.9	0.4	2.6	4.1	△1.5	-4.1	-6.6	2.5	47.0	19.3	27.7	41.9	66.4	△24.5
4 上	1.3	1.6	△0.4	5.6	6.7	△1.1	-2.8	-3.8	1.0	12.5	9.5	3.0	46.4	54.0	△7.6
4 中	0.7	4.7	△4.0	4.5	10.6	△6.1	-3.4	-0.8	△2.6	21.0	18.0	3.0	41.6	52.4	△10.8
4 下	6.4	7.0	△0.7	13.4	13.1	0.2	-0.2	1.1	△1.3	8.5	15.9	△7.4	69.6	52.3	17.3
5 上	9.8	7.8	2.0	16.6	13.9	2.7	2.5	1.9	0.6	42.5	28.8	13.7	47.3	49.2	△1.9
5 中	7.9	10.3	△2.5	12.6	16.4	△3.8	3.9	4.5	△0.6	35.0	13.8	21.2	24.3	47.1	△22.8

注) 観測値は置戸町境野のアメダスによる。平年値は前10か年の平均値である。

日最高気温、日最低気温は、アメダスの毎正時観測値（1時から24時までの24個）から算出したものである。一方、気象庁発表の値は平成15年1月1日の値から10分ごとの観測値（0時10分から24時までの144個）による新たな算出方法に変更されており、ここに記載した値とは一致しない。10分値を用いた日最高気温は毎正時の観測値を用いたものより平均して0.3℃高く、日最低気温は0.2℃低くなる傾向がある。詳細は気象庁ホームページ（[http://www.data.kishou.go.jp/rank\\_ch\\_info.htm](http://www.data.kishou.go.jp/rank_ch_info.htm)）参照。

6) 気象経過のグラフ



## 2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

### 1) 秋まき小麦 作況：平年並

事由：播種は平年より1～2日早く、出芽は2日程度早かった。9月下旬から10月上旬の降水量は平年より多く、特に10月7日から9日までの降水量は合計145.5mmに達した。また、10月中下旬の気温は平年並から低く推移したため、越冬前の生育は、草丈、茎数ともに平年を下回った。根雪始は11月28日で平年より2日早かった。融雪期は平年より9日遅い4月20日となり、根雪期間は平年より11日長い144日間であった。調査圃場を含め融雪剤を撒布した圃場は2週間程度融雪が早かった。雪腐病の発生は少なく、生育への影響は無かった。融雪期以降、気温は5月上旬を除き平年並か平年を下回る状態が続いたため、草丈は平年よりやや低く、茎数は平年並か平年をやや下回っているが、平年並の穂数は確保できると思われる。

以上のことから目下の作況は「平年並」である。

調査項目	タクネコムギ			ホクシン			ホロシリコムギ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (平成 18 年月 . 日)	9.15	9.16	△ 1	9.15	9.17	△ 2	9.15	9.16	△ 1
出芽期 (平成 18 年月 . 日)	9.22	9.23	△ 1	9.22	9.25	△ 3	9.22	9.24	△ 2
草丈(cm) (平成 18 年 11 月 20 日)	16.3	21.8	△ 5.5	16.5	19.6	△ 3.1	17.6	21.1	△ 3.5
草丈(cm) (平成 19 年 5 月 20 日)	33.5	41.8	△ 8.3	35.7	40.0	△ 4.3	37.1	44.3	△ 7.2
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平成 19 年 11 月 20 日)	1686	2137	△ 451	1515	1690	△ 175	1568	1807	△ 239
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平成 19 年 5 月 20 日)	1263	1383	△ 121	1216	1376	△ 160	1388	1348	40

注) 平年値は前7カ年中、「タクネコムギ」「ホクシン」は平成14年(最凶)、15年(最豊)を除く5カ年、「ホロシリコムギ」は平成15年(最豊)、18年(最凶)を除く5カ年の平均値。

「ホクシン」の播種量は255粒/m<sup>2</sup>、その他の品種の播種量は340粒/m<sup>2</sup>。

2) 春まき小麦

作 況：平年並

事 由：融雪が遅れたため、播種期は4月23日で平年より2～3日遅かった。播種後は気温が平年並みに推移し、出芽期は5月5日で平年並となった。その後、5月中旬が低温、寡照傾向となったため、生育が遅れ、茎数は平年を下回っている。草丈は「ハルユタカ」で平年をやや下回り、「春よ恋」は平年並である。

以上のことから現在の作況は「平年並」である。

調査項目	ハルユタカ			春よ恋		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	4.23	4.20	3	4.23	4.21	2
出芽期 (月.日)	5.5	5.4	1	5.5	5.6	△ 1
草丈(cm) (5月20日)	15.4	17.1	△ 1.7	16.3	15.9	0.4
茎数(本/㎡) (5月20日)	354	460	△ 106	347	409	△ 62

注) 「ハルユタカ」の平年値は過去7か年の内、平成12年(最凶年)、平成18年(最豊年)を除く5か年平均。「春よ恋」の平年値は過去6か年の内、平成14年(最凶年)、平成18年(最豊年)を除く4か年平均。

3) てんさい 作 況：平年並

事 由：移植栽培の播種は平年より3日早い3月23日に行い、育苗中の生育は順調であった。5月7日の降雨により、平年より移植期は2～3日、直播栽培の播種期は3日それぞれ遅れた。直播「モノホマレ」はまだ出芽していないものの、移植後に適度な降雨があったため、移植栽培の活着は良好である。

以上のことから目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較		平年	比較
播種期 (月.日)	3.23	3.26	△ 3	3.23	3.26	△ 3	5.10	5.8	2
移植期 (月.日)	5.10	5.7	3	5.10	5.8	2		—	
出芽期 (月.日)		—			—			5.19	

注) 平年値は前7か年中、移植「モノホマレ」は平成12年(最凶)及び17年(最豊)、移植「アーベント」は平成12年(最凶)及び16年(最豊)、直播「モノホマレ」は平成14年(最凶)及び16年(最豊)をそれぞれ除く5か年の平均。

4) 牧 草 作 況：平年並

事 由：冬損程度は平年並であった。融雪期が遅れ、萌芽期は平年より6日遅い4月23日であったが、融雪後は5月上旬の気温がやや高く、降水量が平年より多く推移したことなどから、5月18日現在の被度および草丈は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ノサップ		
	本年	平年	比較
萌芽期 (月.日)	4.23	4.17	6
冬損程度	1.5	1.4	0.1
被度 (%) (5月18日)	100	100	0
草丈(cm) (5月18日)	37	38	△ 1

注) 平年値は前5か年の平均(耕種概要・調査項目が大幅に変更されたため)。

冬損程度は1:無または微～9:甚。

倒伏程度および病害罹病程度は、1:無または微～9:甚。病害は主に斑点病。

5) たまねぎ 作 況：平年並（参考）

事 由：播種は晩生種「スーパー北もみじ」では平年より4日早い3月8日、早生種「改良オホーツク1号」では平年より6日早い3月2日に行った。播種後は高温に推移し、出芽期は「スーパー北もみじ」では平年より4日早い3月21日、「改良オホーツク1号」では平年より5日早い3月15日であった。育苗期間中はやや低温に推移したが苗生育は順調であった。移植は「スーパー北もみじ」では平年より2日早い5月11日、「改良オホーツク1号」では平年より8日早い5月6日に行った。移植時の苗質は「スーパー北もみじ」、「改良オホーツク1号」ともほぼ平年並であった。

以上のことから現在の作況は「平年並」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	3.2	3.8	△ 6	3.8	3.12	△ 4
出芽期 (月.日)	3.15	3.20	△ 5	3.21	3.25	△ 4
移植期 (月.日)	5.2	5.10	△ 8	5.11	5.13	△ 2
草丈(cm) (移植時)	24.0	25.5	△ 1.5	23.5	23.0	0.5
生葉数(枚) (移植時)	3.1	3.1	0.0	3.5	3.0	0.5
葉鞘径(mm) (移植時)	3.9	4.2	△ 0.3	4.2	4.0	0.2

注) 平成15年に圃場を変更したため、平年値は平成15年から平成18年までの4カ年の平均。

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反覆	前作物	畦幅 cm	株間 cm	一株 本数	播種粒数 粒/㎡	播種量 kg/10a	株数 株/10a
1. 秋まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340(255)	-	-
2. 春まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340	-	-
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75.0	17.8	1	-	-	7,491
4. 大豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
5. 小豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
6. 菜豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	とうもろこし	75.0	30.0	1	-	-	4,444
8. てん菜	100	3	ばれいしょ	60.0	23.8	1	-	-	7,003
9. チモシー	2.7	4	緑肥えん麦	30.0	条播	-	-	2.0	-
10. たまねぎ	10.0	2	たまねぎ	30.0	10.5	1	-	-	31,750

注) 秋まき小麦の播種粒数欄の ( ) は「ホクシン」の播種粒数を示す。

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	6+3	20.0	9.6	4.0			
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0			
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000	炭カル:100	
4. 大豆	1.8	15.0	7.8	3.0			
5. 小豆	4.0	20.0	11.2	4.0			
6. 菜豆	4.0	16.0	9.3	3.3			
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0			
8. てん菜	15.0	21.3	13.8	5.0			
9. チモシー	15.0	15.0	15.0	2.3			2年目草地
10. たまねぎ	15.0	31.0	15.0	2.8	2,000		